

日吉っ子

ボランティア通信

令和7年11月21日 日吉小・中学校区地域学校協働本部発行

河後森城跡見学

9月22日(月)に、松野町役場教育課の方の案内で、小学5・6年生と愛治小5・6年生が、松野町にある「河後森城跡」を訪れました。愛媛県と高知県の境目にあった河後森城は、城の防御力を高くする「曲輪(くるわ)」が多数あり、規模の大きい山城だったことを学習しました。

この日は、松野町の美しい景色を見渡せる山の高い地点で、児童たちが「平瓦(ひらがわら)」と「礎石(そせき)」を発見しました。講師の方に見せると、「これは、すごい大発見だよ。この周辺には、建物があつたことになるんだよ。」と言われました。今回発見したものが、今後の調査や研究に貢献できることを期待しています。

鬼北町内外の山城跡を訪れ、実際に目にする事で、児童たちは触発されたと思います。今年度は、愛治小と日吉小の児童たちが、合同の授業を2回実施することができ、貴重な学習になりました。



★ 鬼北イメージアッププロジェクト ★

10月10日(金)に、中学生が図書室で、前回インタビューした内容を基にしたパンフレット作りの作業を進めました。着々と進んでいるようです。完成する日が待ち遠しいです。



★ 日吉の味マイスター ★

10月28日(火)に、小学3・4年生が下鍵山にある「常行菓子舗」を訪れました。店主に、人気商品の1つである「栗饅頭」の作り方を教えていただきました。児童たちは、あんこを生地包む作業に挑戦しました。手際よく作業を進める児童もいれば、初めてのことに苦戦を強いられる児童もいて、店主に優しくアドバイスをされていました。そして、店主が10秒で包んでいる姿を見て、児童たちは、その職人技に感嘆の声を上げました。

その後、焼き立ての栗饅頭を試食させていただきました。パリッと焼き上がった薄皮に程よい甘さのあんこが口の中に広がり、焼き立てのおいしさは格別でした。「おじいちゃんの味を守りたい。」と語られていた店主の、熱い思いをしっかりと受け止めた郷土学になりました。



★ 川柳マイスター ★

10月31日(金)に、ひよし川柳会会長を講師としてお招きし、校内で小学1・2年生の郷土学「川柳マイスター」を実施しました。川柳は「五・七・五」の17音で構成され、俳句のように季語はいらないそうです。また、感情を表現してはいけない俳句と違い、川柳は感情を表現してもいいそうです。

講師の方から川柳の作り方を一とおり学んだ後は、実際に川柳作りに挑戦しました。最初は、前日に体験したサツマイモ掘りをお題にして作り、慣れてきたら児童たちが自由に作りました。中には5句作った児童もあり、積極的な姿勢と感性の豊かさに、講師の方は感心していました。「芸術の秋」にふさわしい内容の学習になりました。

